

社会（地理的分野）

東京書籍
教育出版
帝国書院
日本文教出版

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫	<p>学習指導要領に示す目標に従い、世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>巻頭・第1編・第2編第1章・巻末で世界・日本を大観する写真・地図を取り上げている。第2編第2章では世界の各州ごと、第2編第2章では日本の各地域ごとの地域的特色を示す写真を取り上げている。第3編第1章では地域の調査として、5つの視点で日本の1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、単元全体を貫く問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、学習を深めるための作業や活動場面を設け、興味を引く話を紹介している。まとめとして、その時間に学習した内容を確認したり、さらに深めたりする課題を設けている。</p> <p>第1編から第3編では、各章や節ごとに学習した内容について基礎的・基本的な知識や技能の確認として、単元を貫く探究課題の解決に向けた内容を設け、対話的な言語活動の充実を図れるようにしている。</p>	<p>学習指導要領に示す目標に従い、世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編・第2編第1章・折り込みページで世界・日本を大観する地図・写真を取り上げている。第2編第2章では世界の各州ごと、第3編第3章で日本の各地方ごとの学習の視点を示すテーマやワードを記載している。第3編第1章では地域の調査として7段階の手法で日本の1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、単元全体を貫く学習テーマを設けている。展開として、学習課題を明記し、用語の説明を側注で表記し、資料を読み取ったり、考えを深めたりする作業・活動場面を設けている。まとめとして、その時間に学習した内容を確認し、学習した内容を活用して表現する課題を設けている。</p> <p>第2編第1章、第2編・第3編各第2章、第3編第3章では、章のまとめや各州・各地方ごとに学習した内容の振り返りのページを設け、対話的な学びや言語活動の充実を図れるようにしている。</p>	<p>学習指導要領に示す目標に従い、世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1部で世界・日本を大観する写真・地図を取り上げている。第2部第2章で世界の各州ごと、第3部第3章で日本の各地方ごとの地図を用いて注目するテーマ・視点を取り上げている。第3部第1章では地域の調査として4段階の手法で日本の1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、単元を貫く問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、資料に関する問いかけや補足説明、用語の解説を設けている。まとめとして、各本文ページに確認したり、説明したりする課題を設けている。</p> <p>第1部・第2部・第3部の各章・節の末尾に、章・節の学習内容の振り返りのページを設け、対話的な学びや言語活動の充実を図れるようにしている。</p>	<p>学習指導要領に示す目標に従い、世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編では世界・日本を大観する写真・地図を取り上げている。第2編第2章で世界の各州ごと、第3編第3章では日本の各地方ごとの地理的特色を示す写真を取り上げている。第3編第1章では地域の調査として6段階の手法で日本の1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、資料に関する問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、資料の読み取りや読み取ったことを活用して表現する活動が設けられている。まとめとして、学習内容について理解を確認し表現するための問いを設けている。</p> <p>第1編の末尾、第2編・第3編各章・各節の末尾に、学習した内容の振り返りのページを設け、対話的な学びや言語活動の充実を図れるようにしている。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な学習主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p>	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な学習主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p>	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な学習主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p>	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な学習主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p>

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
		<p>地理の基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナーとして「スキル・アップ」を31箇所記載している。</p> <p>章末や地域の学習の後に学習のまとめとして振り返りの活動を設定している。</p>	<p>地理の基礎的知識を確認する「地理の学習を始めるにあたって」「地理にアプローチ」を巻頭に記載している。基本的な地理的技能を身に付ける工夫として「地理の技」を8箇所記載している。</p> <p>章末や地域の学習の後に学習のまとめとして振り返りの活動を設定している。</p>	<p>地域の基礎的技能を習得するコラム「技能をみがく」を21項目、学習内容に関連した「地理プラス」を24項目記載している。</p> <p>章末や地域の学習の後に学習のまとめとして振り返りの活動を設定している。</p>	<p>地理の基礎的技能を6種類に整理し、系統だてて習得できるコラム「スキルUP」を28項目、具体的な作業を通して学習内容を深める「トライ」を見開きに1~2項目ずつ記載している。</p> <p>章末や地域の学習の後に学習のまとめとして振り返りの活動を設定している。</p>
	別表2	<p>言語活動の充実を図る工夫として、見開きごとに「チェック」「トライ」を設けているほか、対話的な学びにつながる「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的に捉える工夫として、「もっと知りたい」を34箇所、「未来にアクセス」を21箇所、「+もっと解説」を15箇所設定している。</p> <p>地域の調査事例では、兵庫県神戸市を取り上げている。まとめ方として、地図や図表で表してまとめる方法を例示している。5つの視点で課題発見から発表までを例示している。</p> <p>各節にまとめの活動として「〇〇の学習をまとめよう」を設定し、まとめ方が例示されている。</p>	<p>言語活動の充実を図る工夫として、見開きごとに「確認と表現」を設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的に捉える工夫として、「地理の窓」を53項目、持続可能な社会に向けて6つのテーマを設け提示している。</p> <p>地域の調査事例では、愛知県名古屋市を取り上げている。まとめ方として、主題図やグラフなどで表してまとめる方法を例示している。</p> <p>各章、各州・各地方の学習の最後に「学習のまとめと表現」が設けられ、まとめ方が例示されている。</p>	<p>言語活動の充実を図る工夫として、見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」を設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的に捉える工夫として、「アクティブ地理AL」を4項目、「未来に向けて」を8項目設定している。</p> <p>地域調査事例では、東京都練馬区を取り上げている。まとめ方として、グラフや地図を用い、事実と事実から考えた解釈の説明の仕方など、まとめ方が例示されている。</p> <p>各節の最後に「学習を振り返ろう」が設けられ、まとめ方が例示されている。</p>	<p>言語活動の充実を図る工夫として、見開きごとに「確認」「表現」を設けている。深い学びを実現させるコーナーとして「議論してみよう」を13項目設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的に捉える工夫として「地理+α」を15項目、「持続可能な地域を目指して」を16項目設定している。</p> <p>地域の調査事例では、京都市伏見区を取り上げている。まとめ方として、地域の特色を考察してまとめるために、地図やグラフに加工して整理する方法が示されている。</p> <p>各節の最後に「まとめとふり返り」が設けられ、まとめ方が例示されている。</p>
	別表3	<p>「この教科書の使い方と学び方」で章の構成と学び方、本文ページの構成と学び方について解説している。</p> <p>本文のページでは、各章末ごとに学習した内容を確認、整理するための「学習をまとめよう」と、州・地方ごとに「まとめの活動」を設けている。</p> <p>その中で、対話的な学びを実現するコー</p>	<p>「教科書の使い方」で本文ページの見方、使い方、表記の説明などについて説明している。</p> <p>本文のページでは、「学習課題」「確認」「表現」を設けている。更に、各章末ごとに学習した内容を確認・整理するための「学習のまとめと表現」のページを設けている。</p>	<p>「教科書を活用した学び方」において単元の見通しから振り返りの流れ、本文ページの学習のしかたを説明している。</p> <p>本文のページでは、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設けている。更に各章・節ごとに学習した内容を確認・整理するための「学習を振り返ろう」のページを設けている。</p>	<p>「教科書の構成と学び方」で教科書全体の構成と学び方について説明している。</p> <p>本文のページでは、各編・章・節の問いを立て、その問いを解決するために1時間ごとの「学習課題」に取り組み、「確認」「表現」でまとめる構成になっている。</p>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮				
	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮				

教科・種目名 社会（地理的分野）

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	別表4	ナーとして、「みんなでチャレンジ」を設定し、対話するための課題を例示している。			
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	高等学校の学習内容と関連を示す印や「発展」などの記載はない。	高等学校の学習内容と関連を示す印や「発展」などの記載はない。	高等学校の学習内容と関連を示す印や「発展」などの記載はない。	高等学校の学習内容と関連を示す印や「発展」などの記載はない。
	(5) 他の教科等との関連 別表6	<p>各ページの下部に歴史的・公民的分野や他教科との関連を図った学習につながる内容を示す(D)が記載されている。</p> <p>巻頭に人権・平和、環境・エネルギー、防災・安全、情報・技術の概要を示し、学習に関連のある内容に印を付けて、21箇所取り上げている。</p> <p>随所に世界や日本で暮らす人々の社会参画を示す「コラム」を設け、自らの生き方やキャリア形成について考えさせるような工夫をしている。</p> <p>男女共同参画社会の追求への配慮を示す印などはない。</p>	<p>各ページの下部で歴史的・公民的分野に関連のある内容に印を付けて示している。</p> <p>巻頭にSDGsの概要を示し、第2編第2章世界の各州の学習のまとめとして関連のある課題を取り上げているほか、既習事項を基に、様々な視点から地域を捉え、地域的課題を捉えるための特設ページを設けている。</p> <p>男女共同参画社会の追求への配慮を示す印などはない。</p>	<p>各ページ下部に歴史的・公民的分野との関連を示すマークがあり、関連内容が記載されている。</p> <p>巻頭にSDGsの概要を示し、関連のある内容に印を付け、地域的・地球的規模の解決に取り組む多様な視点と、その実現に向けた世界や日本の取組をコラムとして40箇所記載している。</p> <p>男女共同参画社会の追求への配慮を示す印などはない。</p>	<p>本文ページの下部に歴史的・公民的分野との関連を示すマークが記載されているほか、各編・章末のまとめの部分に、他分野の学習に関連する学習課題が1箇所設定されている。</p> <p>巻頭にSDGsの概要を示し、関連する箇所にはSDGsマークを記載しているほか、関連するコラムを記載し、都市の発展や課題などを示している。</p> <p>男女共同参画社会の追求への配慮を示す印などはない。</p>
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫	<p>総ページ数は287ページで、AB版である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料には解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p>	<p>総ページ数は297ページで、AB版である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料には解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p>	<p>総ページ数は293ページで、AB版である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料には解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p>	<p>総ページ数は305ページで、AB版である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料には解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p>

教科・種目名 社会（地理的分野）

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	別表7	<p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフの記載はない。巻末に用語解説のページを設けているほか、二次元コードでも検索できるようにしている。</p> <p>ICT を活用した学習内容については、デジタルコンテンツがあるところに印を付けて取り上げており、二次元コードやURLが示されている。巻末にデジタルコンテンツの活用方法を記載している。</p>	<p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフの記載はない。巻末に用語解説のページを設けている。</p> <p>学習に役立つ情報の閲覧や、学習内容の確認、関係するサイトへの接続などができる二次元コードが示されている。</p>	<p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフの記載はない。巻末に用語解説のページを設けているほか、二次元コードでも検索できるようにしている。</p> <p>ICT を活用した学習内容については、本文中に二次元コードを記載しているほか、巻頭で二次元コードの内容と活用方法を記載している。</p>	<p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料を記載している。用語解説のページを巻末に設けている。</p> <p>ICT を活用した学習については、本文中に二次元コードを記載しているほか、巻頭で二次元コードの内容と活用方法を記載している。</p>

調査項目		発行者名			
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
世界の様々な地域	総ページ数	122 ページ(第1編第1章・第2編)	109 ページ(第1編第1章・第2編)	114 ページ(第1部第1章・第2部)	116 ページ(第1編第1章・第2編)
	単元別ページ数	第1編 世界と日本の姿(導入) …2 ページ ◇第1章 世界の姿…12 ページ 第2編 世界のさまざまな地域 ◇第1章 人々の生活と環境…22 ページ ◇第2章 世界の諸地域…86 ページ	第1編 世界と日本の地域構成 ◇第1章 世界の地域構成…10 ページ 第2編 世界のさまざまな地域 ◇第1章 世界の人々の生活と環境…17 ページ ◇第2章 世界の諸地域…82 ページ	第1部 世界と日本の地域構成 ◇第1章 世界の姿…12 ページ 第2部 世界のさまざまな地域 ◇第1章 人々の生活と環境…19 ページ ◇第2章 世界の諸地域…83 ページ	第1編 世界と日本の地域構成 ◇第1章 世界の地域構成…12 ページ 第2編 世界のさまざまな地域 ◇第1章 世界各地の人々の生活と環境…18 ページ ◇第2章 世界の諸地域…86 ページ
日本の様々な地域	総ページ数	147 ページ (第1編第2章・第3編)	167 ページ (第1編第2章・折り込み・第3編)	174 ページ (第1部第2章・第3部・第4部)	149 ページ (第1編第2章・第3編)
	単元別ページ数	第1編 世界と日本の姿 ◇第2章 日本の姿…12 ページ 第3編 日本のさまざまな地域 ◇第1章 地域調査の手法…12 ページ ◇第2章 日本の地域的特色…26 ページ ◇第3章 日本の諸地域…86 ページ ◇第4章 持続可能な地域の在り方…11 ページ	第1編 世界と日本の地域構成 ◇第2章 日本の地域構成…8 ページ ◇折り込み…6 ページ 第3編 日本のさまざまな地域 ◇第1章 地域調査の方法を学ぼう…13 ページ ◇第2章 日本の特色と地域区分…26 ページ ◇第3章 日本の諸地域…104 ページ ◇第4章 地域の在り方…10 ページ	第1部 世界と日本の地域構成 ◇第2章 日本の姿…12 ページ 第3部 日本のさまざまな地域 ◇第1章 地域調査のしかた…12 ページ ◇第2章 日本の地域的特色…26 ページ ◇第3章 日本の諸地域…114 ページ 第4部 地域のあり方 ◇第1章 地域のあり方…10 ページ	第1編 世界と日本の地域構成 ◇第2章 日本の地域構成…10 ページ 第3編 日本のさまざまな地域 ◇第1章 地域調査の手法—京都市伏見区を例に—…14 ページ ◇第2章 日本の地域的特色と地域区分…24 ページ ◇第3章 日本の諸地域…114 ページ ◇第4章 地域の在り方—宮崎市を例に—…11 ページ
全体の構成	単元の導入	【第1編】 <第1章・第2章> ◇「導入の活動」として、「クイズカードをつくろう」のページを設け、世界の国と都道府県のそれぞれの国旗や代表的な建物、自然の景色、名物(中国:万里の長城・アメリカ:グランドキャニオン、中部地方:輪中地帯、関東地方:富岡製糸場)の写真を取り上げている。 【第2編】 <第1章> ◇「導入の活動」として、「人々の暮らしを写真から探ろう」のページを設け、モンゴルの住居と食事、フィジーの住居の写	【第1編】 <第1章・第2章> ◇「世界と日本の地域構成」のページを設け、兵庫県明石市の日本の標準時を示す時計塔および日本標準時線が通過する子午線鋼板と駅のホームの写真を取り上げている。 ◇「章を見通した学習課題」として、各章の学習課題を明記している。 【第2編】 <第1章> ◇「世界の人々の生活と環境」のページを設け、イスラム教に関する4枚の写真(エジプト、トルコ、インドネシア、アフガニ	【第1部】 <第1章> 無 ※最初のページに「1章の問い」のみ表記されている。 <第2章> 無 ※最初のページに「2章の問い」のみ表記されている。 【第2部】 <第1章> 無 ※最初のページに「1章の問い」のみ表記されている。	【第1編】 <第1節・第2節> ◇「写真を通して世界と日本の姿をながめよう」のページを設け、宇宙から見た地球及び世界や日本の風景(アメリカ:ナイアガラ、オーストラリア:ゴールドコースト、中国:パンダ、ドイツ:ソーセージ、日本:山中湖、東京:ビル群)、国旗や都道府県旗を示した写真を取り上げている。 【第2編】 <第1章> ◇「写真を通して世界各地の地域特色を読み取ろう」のページを設け、生活の様子や環境を比較する5枚の写真(マ

調査項目		発行者名			
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
		<p>真を取り上げている。</p> <p><第2章> ◇「導入の活動」として、「SDGs から『地球的課題』を考えよう」のページを設け、持続可能な開発目標とそれぞれの州が抱える課題に関する写真を取り上げている。</p> <p>【第3編】 <第1章> ◇「地域調査の手法」のページを設け、上空から眺めた神戸市の市街地の様子を取り上げている。また、「スキル・アップ」で地域の特色を捉える視点を5つの視点で明記している。</p> <p><第2章> ◇「導入の活動」として「日本がどのような国かイメージしよう」の設定をして、都市が広がる様子、棚田が広がる様子、2枚の写真を取り上げている。</p>	<p>スタン)を取り上げている。 ◇「章を見通した学習課題」として、学習課題を明記している。</p> <p><第2章> ◇「世界の諸地域」のページを設け、食事の方法の違いを比較する3枚の写真（南アフリカ：フォークの使用、台湾：箸の使用、インド：右手の使用）を取り上げている。 ※節ごとに、各州の地図・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p>【第3編】 <第1章> ◇「地域調査の方法を学ぼう」のページを設け、「章を見通した学習課題」と学習の流れを明記している。</p> <p><第2章> ◇「日本の特色と地域区分」のページを設け、都道府県ごとのコンビニエンスストアの店舗数を表した地図を取り上げている。 ◇「章を見通した学習課題」と学習の流れを明記している。 ◇「地域区分をしてみよう」▷第2章を始め</p>	<p><第2章> ◇「学ぶにあたって」のページを設け、各州の地域を探究する主題と地球的課題の組み合わせを明記している。また、「2章のねらい」が表記されている。 ※節ごとに、各州の地図・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p>【第3部】 <第1章> 無 ※最初のページに「1章の問い」のみ表記されている。</p> <p><第2章> 無 ※最初のページに「2章の問い」のみ表記されている。</p>	<p>レーシア：暑い地域、モンゴル：乾燥地域、イタリア：温暖な地域、デンマーク：寒い地域、ボリビア：高地)を取り上げている。</p> <p><第2章> ◇「六つの州の地域的特色をとらえていこう」のページを設け、州ごとの様子を示した6枚の写真（アジア州：中国、ヨーロッパ州：ドイツ、アフリカ州：ナイジェリア、北アメリカ州：アメリカ、南アメリカ州：ブラジル、オセアニア州：フランス領ポリネシア）を取り上げている。 ◇州ごとに追究するテーマを明記している。 ◇節ごとに、各州の地図・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p>【第3編】 <第1章> ◇「地域の特色をどのように調べればよいのだろうか」のページを設け、京都市伏見区の様子を示す5枚の写真（自然環境、人口、産業、交通、歴史的背景）を取り上げている。また、地域調査の手順を4つに分けて明記している。</p> <p><第2章> ◇「地図を重ね合わせて特色を読み取ろう」のページを設け、日本の地方区分と3枚の主題図（主な山地・島、人口密度と都市の分布、県別農業生産）を取り上げている。</p>

調査項目		発行者名			
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
		<p><第3章> ◇「日本の諸地域」のページを設け、小学校で学習した農業・貿易・交通・文化（高原野菜、自動車、空港、かまくら）を取り上げている。また、日本の7地方区分と地域の特色を捉える視点の組み合わせを明記している。 ※節ごとに、各地方の都道府県・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p><第4章> ◇「持続可能な地域の在り方」のページを設け、小学校や各章で学習した内容を取り上げている。また、地域の在り方を追究する手順を6つに分けて明記している。</p>	<p>る前に」のページを設け、7つの主題図（都道府県別の人口区分、在留別外国人分布、工業生産額の分布、日本の気候区分、各地の雑煮に入れる餅の形の分布、JRの営業地域、地方ごとの季節予報を発表する時の気象庁の地域区分）を取り上げている。</p> <p><第3章> ◇「日本の諸地域」のページを設け、地形、祭りに関する2枚の写真（岐阜県：濃尾平野の輪中、福島県：相馬野馬祭り）を取り上げている。 ※節ごとに、各地方の都道府県・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p><第4章> ◇「地域のあり方」のページを設け、「4章の問い」を明記している。また、日本の地域に見られるさまざまな課題例を示している。</p>	<p><第3章> ◇「学ぶにあたって」のページを設け、地方ごとに注目する視点と地域に見られる課題の組み合わせを明記している。また、「3章のねらい」が表記されている。 ※節ごとに、各地方の地図・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p>【第4部】（第1章の導入） ◇「学ぶにあたって」のページを設け、「持続可能な社会」を考える視点として、「日本の諸地域」、「世界の諸地域」、「地域調査のしかた」、「地域のあり方」の関わりを示している。</p>	<p><第3章> ◇「七つの地方の地域的特色をとらえていこう」のページを設け、各地方の様子を示した7枚の写真（沖縄県：さんご礁、鳥取県：水田、兵庫県：姫路城、富山県：立山黒部アルペンルート、東京都：鉄道、青森県：リンゴ農園、北海道：ラベンダー畑と十勝岳）を取り上げている。 ◇地方ごとに追究するテーマと注目する社会的課題の組み合わせを明記している。 ※節ごとに、各地方の都道府県・地域の特色を示した写真を取り上げている。</p> <p><第4章> ◇「市域をより良くするにはどうすればよいのだろう」のページを設け、宮崎市の特色を表す資料と6枚の写真（観光名所、サーフィンの競技会場、サーフィンの様子、宮崎名物「肉巻きおにぎり」、マンゴー、市街地と路線バス）を取り上げている。また、地域の在り方を追究する手順を5つに分けて明記している。</p>
1時間の学習の流れ	<p>◇導入資料を設け、学習内容に関連のある写真を取り上げている。 ◇小単元名の右に、学習内容の見通しを持つ</p>	<p>◇「LOOK!」を設け、学習の導入資料を解説文とともに取り上げている。 ◇小単元名の下に、学習内容の見通しを持つ</p>	<p>◇見開きの資料と関係する問いかけを設けている。 ◇「学習課題」を設け、これからの学習でお</p>	<p>◇導入資料と関係する問いかけを設けている。 ◇「学習課題」を設け、これからの学習</p>	

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>つための「学習課題」を表記している。</p> <p>◇「スキルアップ」を設け、地理の学習を進める上での基礎的・基本的な技能を培うための活動を示している。</p> <p>◇「未来にアクセス」、「もっと知りたい」を設け、本文の学習内容に関連する内容をコラムとして取り上げている。</p> <p>◇「もっと解説」を設け、用語説明を取り上げている。</p> <p>◇「みんなでチャレンジ」を設け、地理的な見方・考え方を活用し、考察する視点を示している。</p> <p>◇「チェック」、「トライ」を設け、その時間に学習した内容を確認したり、更に深めたりする課題を表記している。</p>	<p>つための「学習課題」を表記している。</p> <p>◇「THINK!」を設け、資料を読み取ったり、考えを深めたりする作業活動を取り上げている。</p> <p>◇「地理の窓」を設け、本文の学習内容を詳しく説明し、関連する内容をコラムとして取り上げている。</p> <p>◇「確認・表現」を設け、見開きの学習の理解を確かめる問いを表記している。</p> <p>◇「地理の技」を設け、地図やグラフを扱う学習課題を表記している。</p>	<p>さえるべき課題を表記している。</p> <p>◇「地図帳活用」を設け、資料に対する問いかけや作業活動、注目すべき点を取り上げている。</p> <p>◇コラム（「未来に向けて」「地理プラス」）を設け、本文の学習内容に関連する内容を取り上げている。</p> <p>◇「解説」のコーナーを設け、用語説明を取り上げている。</p> <p>◇「確認しよう」を設け、本文の中から大切な事項を書き出す作業や地図帳を活用して位置やグラフを確認する作業を表記している。</p> <p>◇「説明しよう」を設け、学習した内容を踏まえ、自分の言葉で説明する課題を表記している。</p>	<p>で何を学んでいくのかを表記している。</p> <p>◇「見方・考え方」を設け、学習課題の解決に向けての手がかりとなる視点を示している。</p> <p>◇「トライ」を設け、学習課題の理解を深めるための作業や課題を示している。</p> <p>◇「地理+α」を設け、本文の学習内容を詳しく説明し、関連する内容をコラムとして取り上げている。</p> <p>◇「確認・表現」を設け、見開きの学習の理解を確かめる問いを表記している。</p> <p>◇「スキルUP」を設け、統計資料や地図、写真を活用して知識や技能を身に付けるための課題を示している。</p>
単元の学習内容の振り返り	<p>◇第1編第1章、第2章、第2編第1章、第2章、第3編第2章、第3章では、「まとめの活動」を設け、単元を貫く「探究課題」を解決するための補助となる活動を示している。</p> <p>なお、第2編第2章の「世界の諸地域」、第3編第3章の「日本の諸地域」の「まとめの活動」に関しては、節ごとにそれぞれの地域をまとめる活動を設定している。</p> <p>◇第1編、第2編第1章、第2章、第3編第2章、第3章では、「基礎・基本のまとめ」を設け、編や章で学習した基礎的・基本的な知識や技能を確認する内容を示している。</p> <p>なお、第2編第2章の「世界の諸地域」、第3編第3章の「日本の諸地域」の「基礎・基本のまとめ」に関しては、節ごとにそれぞれの地域の学習内容を確認する内容を示している。</p>	<p>◇第2編第1章、第2章では州ごと、第3編第2章、第3章は地方ごとに「学習のまとめと表現」のページを設け、学習した内容の確認とまとめを行っている。</p>	<p>◇第3部第1章、第4部以外のすべての章に「学習を振り返ろう」のページを設け、学習した内容の確認とまとめを行っている。</p> <p>◇第2部第2章と第3部第3章においては、節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設けている。</p>	<p>◇第1編、第2編第1章、第2章、第3編第2章、第3章では、それぞれの単元の「まとめと振り返り」のページを設け、学習した内容の確認とまとめを行っている。</p> <p>なお、第2編第2章「世界の諸地域」、第3編第3章「日本の諸地域」に関しては、節ごとに「まとめと振り返り」のページを設けている。</p>

調査項目	発行者名				
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	
地球儀や地図の活用例のページ数	25ページ P10、P11、P16、P17、P18、P19、P22、P23、P24、P25、P30、P31、P32、P53、P57、P146、P147、P148、P149、P151、P154、P155、P168、P178、P179 *世界と日本の地域構成、地域調査の手法、ハザードマップ、日本の地域区分での活用を含む。	22ページ P2、P3、P6、P7、P8、P9、P10、P11、P16、P17、P23、P136、P137、P138、P139、P140、P141、P145、P146、P147、P158、P159、P281 *世界と日本の地域構成、地域調査の方法、ハザードマップ、日本の地域区分、地域の在り方での活用を含む。	19ページ P2、P3、P8、P9、P10、P11、P14、P15、P16、P17、P24、P44、P130、P131、P132、P133、P135、P136、P151 *世界と日本の地域構成、地域調査のしかた、ハザードマップ、地域の在り方での活用を含む。	22ページ P4、P5、P10、P11、P12、P13、P14、P15、P16、P17、P22、P23、P41、P132、P133、P134、P135、P140、P142、P144、P145、P155 *世界と日本の地域構成、地域調査の手法、ハザードマップ、日本の地域区分での活用を含む。	
地理的技能を身につけさせるための記載	◇スキルアップで31項目記載。 ◇資料から発見で6項目記載。	◇地理の技で8項目記載。	◇技能をみがくで21項目記載。	◇スキルUPで6項目記載。 ◇「トライ」で具体的な作業を通じて学習内容を深める工夫がされている。	
小学校での既習事項と関連付けたページの有無	有 ◇各章導入に「小学校の社会で習ったことば」を記載。 ◇小学校の社会科やスキルアップなどで身に付けた技能を活用して活動するコーナーを設けている。	有 ◇「地理にアプローチ」で地図のきまりや地図帳の使い方を振り返る記載がある。 ◇「世界と日本の地域構成」で振り返る記載がある。	有 ◇「地理的学習の全体像」で、小学校で学んだ事柄を関連付けている。 ◇各ページ下段に小学校・歴史・公民・他教科との関連を記載している。	有 ◇各章導入部分に「小学校で学習した内容」を記載している。 ◇各ページ下段に「小学校〇年」で学習内容を振り返る記載がある。	
「世界の諸地域」の設定主題	アジア	◇アジア州の経済発展は地域にどのような影響を与えているか。	◇アジアにおける急速な経済発展は、地域にどのような変化をもたらしたか。	◇アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているか。	◇アジアの国々は、どのように経済発展しているのか。
	ヨーロッパ	◇ヨーロッパ州での国家間の統合は、地域にどのような影響を与えているか。	◇ヨーロッパでは、なぜ国々の結びつきが強まったのか。	◇ヨーロッパ州では国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのか。	◇ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのか。
	アフリカ	◇アフリカ州では、どのような国際支援が必要か。	◇アフリカでみられる国際協力や国際支援には、どのような取り組みがあるのか。	◇アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているか。	◇アフリカの国々は、資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているか。
	北アメリカ	◇北アメリカ州に多く見られる移民は、地域にどのような影響を与えているか。	◇北アメリカでは、なぜ先進的で多様な産業が発達したのか。	◇北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのか。	◇北アメリカの産業は、世界にどのような影響を与えているのか。
	南アメリカ	◇南アメリカ州の開発と環境保全には、どのような課題があるか。	◇南アメリカでは、なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのか。	◇南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのか。	◇南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっていて、何が問題になっているか。
	オセアニア	◇オセアニア州では、どのような地域との結びつきが強くなっているか。	◇オセアニアでは、なぜ他地域との関係が強まったのか。	◇オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのか。	◇オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのか。

調査項目		発行者名			
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
「世界と比べた日本の地域的特色」の小単元名	自然環境	◇地形から見た日本の特色。 ◇気候から見た日本の特色。 ◇日本で見られるさまざまな自然災害。 ◇防災・減災に向けた取り組みと課題。	◇変化する大地、安定した大地。 ◇変化に富む日本列島の地形。 ◇四季のある気候。 ◇自然災害に向き合う。 ◇災害から身を守るために。	◇山がちな日本の地形。 ◇川がつくる地形と海岸や海洋の特徴。 ◇日本の気候。 ◇日本のさまざまな自然災害。 ◇自然災害に対する備え。	◇地形からみた日本の地域的特色と地域区分。 ◇気候からみた日本の地域的特色と地域区分。 ◇自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分。 ◇災害にそなえるために。
	人口	◇人口から見た日本の特色。	◇変化する人口。 ◇人口分布のかたよりがもたらす問題。	◇日本の人口。	◇人口からみた日本の地域的特色と地域区分。
	資源・エネルギーと産業	◇資源・エネルギーから見た日本の特色。 ◇産業から見た日本の特色。	◇輸入に頼る資源・エネルギー。 ◇日本の産業活動と立地。	◇日本の資源・エネルギーと電力。 ◇日本の産業。	◇資源・エネルギーからみた日本の地域的特色と地域区分。 ◇産業からみた日本の地域的特色と地域区分。
	地域間の結びつき	◇交通・通信から見た日本の特色。	◇交通・通信による結びつき。	◇日本の交通網・通信網。	◇交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分。
「日本の諸地域」の考察の仕方と事例地域（地方名）及び単元名	自然環境	◇九州地方「九州地方をながめて」 ◇中国・四国地方「中国・四国地方をながめて」 ◇近畿地方「近畿地方をながめて」 ◇中部地方「中部地方をながめて」 ◇関東地方「関東地方をながめて」 ◇東北地方「東北地方をながめて」 ◇北海道地方「北海道地方をながめて」	◇九州地方「多様な自然がみられる地域」「火山とともに暮らす」 ◇中国・四国地方「人口分布のかたよる地域（山と海に影響される気候）」 ◇近畿地方「歴史に育まれた地域（多様な自然環境）」 ◇中部地方「多様な産業が見られる地域（多様な自然環境）」 ◇関東地方「日本の中心的地域（日本最大の平野・内陸と海沿いで異なる気候）」 ◇東北地方「多様な自然環境に育まれた文化を持つ地域」 ◇北海道地方「開拓の歴史が新しい地域（北海道の自然環境）」	◇九州地方「九州地方の自然環境」。 ◇中国・四国地方「中国・四国地方の自然環境」。 ◇近畿地方「近畿地方の自然環境」。 ◇中部地方「中部地方の自然環境」。 ◇関東地方「関東地方の自然環境」。 ◇東北地方「東北地方の自然環境」。 ◇北海道地方「北海道地方の自然環境」。	◇九州地方「九州地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇中国・四国地方「中国・四国地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇近畿地方「近畿地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇中部地方「中部地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇関東地方「関東地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇東北地方「東北地方の自然環境と人々のかかわり」。 ◇北海道地方「北海道地方の自然環境と人々のかかわり」「自然環境との共生をはかるために」。
	歴史的背景	◇近畿地方「大都市圏の形成と古都の歴史」。	◇近畿地方「歴史に育まれた地域」。 ◇北海道地方「開拓の歴史が新しい地域」。	◇近畿地方「古都京都・奈良と歴史的景観の保全」。	◇近畿地方「現在にいきづく歴史的都市の特色」「歴史を未来へつなぐ取り組み」。
	産業	◇九州地方「自然を生かした生活や産業」。 ◇中国・四国地方「交通網の整備と産業の変化」。	◇九州地方「特色ある自然と多様な農業」。 ◇近畿地方「阪神工業地帯の発展と今後」。 ◇中部地方「多様な産業がみられる地域」。	◇九州地方「自然を生かした九州地方の農業」「南西諸島の自然と人々の生活や産業」。	◇九州地方「自然環境をいかした農業」「自然環境をいかした南西諸島の観光業」。

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>◇中部地方「中京工業地帯と東海の産業」「中央高地の産業の移り変わり」「北陸の米づくりと個性ある地場産業」。</p> <p>◇東北地方「伝統産業の変化とグローバル化」。</p> <p>◇北海道地方「自然を生かした生活や産業」。</p>	<p>「日本経済をリードする工業地域」「先進的な第一次産業」「自然環境を生かした産業」「雪の多い気候のもとで育まれた産業」。</p> <p>◇関東地方「交通網を利用して発展する産業」。</p> <p>◇東北地方「人々の暮らしの変化と産業」「これからの農業」。</p> <p>◇北海道地方「大規模化する農業」「とる漁業から育てる漁業へ」「豊かな自然と観光」。</p>	<p>◇中国・四国地方「瀬戸内海の内海と工業の発展」「交通網を生かして発展する農業」。</p> <p>◇中部地方「中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏」「東海で発展するさまざまな産業」「内陸にある中央高地の産業の移り変わり」「雪を生かした北陸の産業」。</p> <p>◇関東地方「工業地域の変化と第3次産業の発達」。</p> <p>◇東北地方「稲作と畑作に対する人々の工夫や努力」「水産業と果樹栽培における人々の工夫や努力」。</p> <p>◇北海道地方「自然環境を克服して発展した畑作や稲作」「北国の自然が育む酪農や漁業」「北国の自然を生かした観光産業」。</p>	<p>◇中国・四国地方「結びつきを生かした工業」「交通・通信を生かした農業・漁業」。</p> <p>◇近畿地方「伝統を生かした産業と世界進出」。</p> <p>◇中部地方「日本を支える工業の中心地、東海」「交通網の整備による中央高地の産業の変化」「自然環境からみた北陸の農業・工業」「消費地と結びつく農業・漁業の戦略」。</p> <p>◇東北地方「農業をとりまく環境の変化と農家の対応」「東日本大震災にともなう社会の変化」。</p> <p>◇北海道地方「厳しい自然環境を克服した農業」「自然環境を生かした観光とその影響」。</p>
環境問題や環境保全	<p>◇九州地方「環境と開発の両立を目指して」。</p>	<p>◇九州地方「工業の移り変わりと環境保全」「沖縄県の観光開発と環境保全」。</p> <p>◇近畿地方「琵琶湖の水の利用と環境」。</p>	<p>◇九州地方「都市や産業の発達と自然環境」。</p> <p>◇近畿地方「阪神工業地帯と環境問題への取り組み」。</p>	<p>◇九州地方「工業の変化と自然環境の保全」。</p> <p>◇関東地方「持続可能な都市づくりに向けて」。</p>
人口や都市・村落	<p>◇近畿地方「ニュータウンの変化と農村の変化」「山村・漁村の暮らしと地域の結びつきの変化」。</p> <p>◇東北地方「記憶の継承と地域づくり」。</p>	<p>◇中国・四国地方「人口分布のかたよる地域」「中国・四国地方の中心 広島市」「人口減少と地域の悩み」「地域おこしの知恵」「交通網の発達と地域の変化」。</p> <p>◇近畿地方「都市の成り立ちと広がり」。</p> <p>◇関東地方「日本の中心的地域」「日本の首都 東京」「郊外に広がる市街地」。</p>	<p>◇中国・四国地方「人々を呼び寄せる地域の取り組み」。</p> <p>◇近畿地方「琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏」。</p> <p>◇関東地方「多くの人が集まる、首都東京」「東京大都市圏の課題と対策」「大都市周辺の農業と山間部の過疎問題」。</p>	<p>◇中国・四国地方「交通・通信を生かした地域活性化」。</p> <p>◇東北地方「震災からの復興と災害に強い地域づくり」。</p>
生活・文化	<p>◇中国・四国地方「交通網の整備と人々の生活の変化」。</p> <p>◇東北地方「伝統行事と生活文化」。</p>	<p>◇近畿地方「京都の町並みと伝統文化」</p> <p>◇東北地方「多様な自然環境に育まれた文化を持つ地域」「地域に根ざした豊かな文化」「現代に生きる地域文化」。</p> <p>◇北海道地方「長く厳しい冬の暮らし」。</p>	<p>◇九州地方「火山とともにある九州地方の人々の生活」。</p> <p>◇中国・四国地方「交通網の整備と人々の生活の変化」。</p> <p>◇東北地方「伝統行事と生活や文化の変化」「工業の発展と人々の生活の変化」。</p> <p>◇北海道地方「雪と共にある北海道地方の人々の生活」。</p>	<p>◇九州地方「自然環境に影響を受ける人々の生活」。</p> <p>◇中国・四国地方「交通網の整備と人々の生活」</p> <p>◇関東地方「東京大都市圏に集まる人口と人々の暮らし」「東京に集まる人々と情報」「大都市圏を支える周辺地域と人々の暮らし」。</p> <p>◇東北地方「伝統文化の維持と革新」。</p>

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
				◇北海道地方「寒冷な気候に対応した人々の生活」。
他地域との結びつき	◇中国・四国地方「人・物・情報で結ばれる地域と世界」。 ◇関東地方「世界や日本と結びつく東京」 「通勤・通学で結びつく東京大都市圏」。 ◇北海道地方「世界とのつながりと環境とのかかわり」。	◇関東地方「世界と結びつく東京」。		◇近畿地方「港町から世界へ」。
「日本の領域」の取扱い	領域を示した地図、図表、写真等の内容 地図「日本の領域と排他的経済水域の範囲」 図表「領土・領海・領域の区分」 写真「工事前と工事後の沖ノ鳥島」	地図「日本の領土・領海と排他的経済水域」 図表「領土・領海・領空の区分」 写真「与那国島、択捉島、沖ノ鳥島、南鳥島」	地図「日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲」 図表「領土・領海・領空のモード図」 写真「与那国島、択捉島、沖ノ鳥島、南鳥島」	地図「日本の領域と排他的経済水域」 図表「主な国の領土・領海・排他的経済水域を合わせた面積」 写真「与那国島、択捉島、沖ノ鳥島、南鳥島」
「北方領土」に関する記載のある単元、内容	単元「北方領土・竹島と尖閣諸島」P28、P29。 内容「位置、島名、領土問題、北海道からの距離、地勢、水産資源について記述」。 地図「北方領土周辺の地形、歯舞群島がのる20万分の1の地勢図」。 写真「北海道根室半島上空からみた歯舞群島、自然環境に恵まれた択捉島」。	単元「日本の領土をめぐって」P20、p21。 内容「ロシアとの国境、帰属未定地域、終戦時の状況、返還要求、ビザなし交流の停止について記述」。 地図「北方領土とその周辺」。 図表「北方領土に関する主なできごと」。 写真「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」。	単元「日本の領域とその特徴」P20、P21。 内容「島名、歴史、国境、水産資源、条約交渉、ビザなし交流について記述」。 地図「北方領土周辺の国境の移り変わり」。 写真「北方領土の島々」「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」。	単元「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」P20、P21。 内容「島名、面積、歴史、水産資源、返還要求について記述」。 地図「北方領土付近の国境の変化」。 写真「羅臼町から見た国後島」「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」。
「竹島」に関する記載のある単元、内容	単元「北方領土・竹島と尖閣諸島」P28、P29。 内容「位置、領土問題、地勢、水産資源について記述」。 地図「竹島2万5000分の1の地形図」。 写真「竹島、断崖に囲まれた竹島」。	単元「日本の領土をめぐって」P20、P21。 内容「歴史、韓国の主張、日本の抗議について記述」。 写真「竹島」。	単元「日本の領域とその特徴」P20、P21。 内容「位置、歴史、韓国の占拠、日本の抗議、竹島での漁業について記述」。 地図「竹島の位置」。 写真「竹島、隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」。	単元「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」P20、P21。 内容「位置、歴史、漁業、韓国の占拠、日本の抗議について記述」。 写真「竹島」「竹島に関する資料を展示する竹島資料室」。
「尖閣諸島」に関する記載のある単元、内容	単元「北方領土・竹島と尖閣諸島」P28、P29。 内容「位置、領有権問題、島名、地勢、海底資源について記述」。	単元「日本の領土をめぐって」P20、P21。 内容「歴史、埋蔵資源、中国の領有権主張、日本の国有化、中国船の侵入事態について記述」。	単元「日本の領域とその特徴」P20、P21。 内容「位置、歴史、産業、海底資源、中国の領有権主張、日本の国有化について記述」。	単元「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」P20、P21。 内容「位置、歴史、埋蔵資源、中国の領有権主張、中国船の日本の領海への侵

教科・種目名 社会（地理的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	地図「久場島の5万分の1の地形図」。 写真「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島、 尖閣諸島の久場島」。	写真「尖閣諸島」。	地図「尖閣諸島の位置」。 写真「尖閣諸島」。	入、日本の抗議について記述」。 写真「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領 海に侵入する中国の船」。

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
言語活動を充実させるための工夫	◇見開きごとに「チェック&トライ」を設けている。 ◇グループで話し合い、対話的な学びを実現する「みんなでチャレンジ」のコーナーを設けている。	◇見開きごとに「確認と表現」を設けている。 ◇各章の最後に「学習のまとめと表現」が設けられ、グループでの話し合いが設定されている。	◇見開きごとに「確認しよう」「説明しよう」を設けている。	◇見開きごとに「確認」「表現」を設けている。 ◇深い学びを実現させるコーナーとして「議論してみよう」を設けている。
地理的事象を多面的、多角的に捉えるための工夫	◇学びを広げ、より深い学びにつなげるコラム・コーナーとして「もっと知りたい」「未来にアクセス」「+もっと解説」を設けている。	◇学習コラム「地理の窓」を設けている。 ◇持続可能な社会に向けて6つのテーマを設けクロスロードの中で提示している。	◇特設ページ・コラムとして「アクティブ地理AL」「未来に向けて」「地理プラス+」を設けている。	◇「地理+α」「持続可能な地域を目指して」が設けられている。
調査の仕方の内容	「世界の様々な地域の調査」(事例地域)	なし	なし	なし
	「身近な地域の調査」(事例地域)	地域調査の手法(神戸市)	地域調査の手法を学ぼう(名古屋市)	地域調査のしかた(東京都練馬区)
	社会参画の視点に関わる記述	第4章「持続可能な地域の在り方」で「誰もが住みやすく、より良い地域にするために、私たちや社会はどのようなことに取り組んだらよいか」を探究課題として取り上げている。	第4章「地域の在り方」で持続可能な地域づくりについて取り上げ、地域の成り立ちや課題を明らかにし、地域の未来について考えさせる活動を設定している。	第4部 第1章「地域のあり方」では課題を解決し、地域の魅力を生かすまちづくりを行うためには、どのような取組が必要なのかを考えさせる活動を設定している。
調査のまとめ方の例示	「世界の様々な地域の調査」	各節にまとめの活動として「○○の学習をまとめよう」と例示されている。	各州の学習の最後に「学習のまとめと表現」が設けられ、まとめ方が例示されている。	各節の最後に「学習を振り返ろう」が設けられ、まとめ方が例示されている。
	「身近な地域の調査」	第3編 第1章「地域調査の手法」の「調査の結果をまとめ発表しよう」では地図や図表で表してまとめる方法が例示されている。	第3編 第1章「地域調査の方法を学ぼう」の「調査の結果をまとめる」では調査結果のまとめとして、主題図やグラフに表現する方法が例示されている。	第3部 第1章「地域調査のしかた」の「調査を深めて結果を発表しよう」でグラフや地図を用いたまとめ方が例示されている。
表現活動の充実への工夫	第4章「持続可能な地域の在り方」では魅力的な地域の将来像について提案・発信する方法が例示されている。	第4章「地域の在り方」では調査研究の発表と共有を図るため、調査結果を地域に伝える活動が設定されている。	第4部「地域のあり方」では地域の課題の解決策を構想し、議論する活動が設定されている。	第3編 第4章「地域の在り方」では地域で見つけた課題を解決し、より良い地域をつくるために構想した内容を発信する活動が設定されている。
新聞を活用している単元とその内容	なし	なし	なし	なし

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
教科書の使い方（学習の進め方）に関する記載	◇4「この教科書の使い方と学び方」で、章の構成と学び方について解説している。その際に「みんなでチャレンジ」という部分がグループで話し合うコーナーとして設定していることにも触れている。 ◇「本文ページの構成と学び方」で教科書の P162 の写真を具体例に挙げ具体的な授業の流れを表している。	◇巻頭1「教科書の使い方」で、三つの編から構成されていることや、本文ページの見方・使い方、表記の説明などについて解説している。 ◇巻頭1で「アジア州」を具体例にあげ、「導入」～「本編」～「学習のまとめと表現」という構成について解説している。 ◇併せて地理的な見方・考え方についても解説している。	◇巻頭「教科書を活用した学び方」において単元の見直しから振り返りまで解説している。毎時の学びは P170 を具体例に流れを解説している。 ◇コラムの活用は巻頭6で説明されている。巻頭7「地理的分野の学習の全体像」で1部～4部までの構成が解説されている。 ◇地理的な見方・考え方についても巻頭8で解説している。	◇巻頭7「教科書の構成と学び方」で、編・章・節の構成と学び方、本文ページの構成と学び方などについて解説している。 ◇登場人物が各編・章・節の問いを立て、その問いを解決するために1時間ごとの「学習課題」に取り組むよう指示している。
自主学习、自由研究用に設定されている課題の数と内容	◇「もっと知りたい」34項目 ◇「未来にアクセス」21項目	◇折込み「持続可能な社会に向けて」6項目 ◇「地理の窓」53項目	◇「解説」53項目 ◇技能をみがく21テーマ 地理プラス24テーマ ◇様々なQRコンテンツの活用 (豊富な視聴覚教材とのリンク)	◇「自由研究」13項目 ◇「地理+α」15項目 ◇「持続可能な地域を目指して」16項目 ◇「議論してみよう」13項目
資料の収集・活用・整理の仕方など調べ学習の方法についての記載	◇第3編「日本のさまざまな地域」第1章「地域調査の手法」、第4章「持続可能な地域の在り方」に記載がある。 ◇「スキル・アップ」31項目 ◇「資料から発見！」6項目	◇第3編「日本のさまざまな地域」第1章「地域調査の方法を学ぼう」、第4章「地域のあり方」に記載がある。 ◇「地理の技」8項目	◇第3部「日本の様々な地域」第1章「地域調査の仕方」、第4部「地域のあり方」第1章「地域の在り方」に記載がある。 ◇「技能をみがく」24項目	◇第3編第1章「地域調査の手法」に記載がある。～京都市伏見区が具体例になっている。 第3編第4章「地域のあり方」に記載がある。 ◇「スキルUP」27項目
作業的・体験的な学習活動例、書き込みページの有無	◇「導入の活動」4項目 ◇「まとめの活動」18項目	◇「学習のまとめと表現」15項目	◇「学習を振り返ろう」17項目	◇「まとめとふりかえり」18項目 ◇「節の問いをたてよう」13項目
掲載されているコラムの内容	◇「未来にアクセス」21項目 ◇「もっと知りたい」34項目 その他「もっと解説」・世界遺産マーク	◇「地理の窓」53項目 ◇「地理の技」8項目 ◇「持続可能な社会に向けて」6項目	◇「未来に向けて」特設ページ9テーマ コラム31項目 ◇「アクティブ地理AL」特設ページ4項目 ◇「地理+」24テーマ ◇「技能をみがく」21テーマ ◇「解説」53項目	◇「地理+α」15項目 ◇「持続可能な地域をめざして」16項目 ◇「スキルアップ」27項目
取り上げられている京都府の地理的事象	◇「近畿地方」より、 ・近畿地方の地形、「天橋立」 ・「大都市圏の形成と古都の歴史」 ・山村・漁業の暮らしと地域の結びつきの変化「伊根の舟屋」「和束」 近畿地方を都市と農村の視点でみてみよ	◇「近畿地方」より、 ・「歴史に育まれた地域」清水寺と西陣織の資料 ・「京都の町並みと伝統文化」～特色ある古都の産業と景観保全～ その他	◇「近畿地方」より、 ・「古都京都・奈良と歴史的景観の保全」 ◇アクティブ地理AL 持続可能な観光について考えよう	◇「近畿地方」より、 ◇「地域調査の手法」（京都市伏見区） ◇「現在に生きづく歴史都市の特色」（京都市） コラム「持続可能な地域をめざして」

教科・種目名 社会（地理的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	う 「上空から見た京都市」「宇治茶の生産地 和束」	近畿地方の導入写真として「天橋立」「祇園 「祇園祭の山鉾巡業」		京都市を例にしている その他 近畿地方の導入写真として祇園祭の山 鉾巡業
「生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことを 促す」工夫として掲載されている教材の数と内容	◇3つ 「みんなでチャレンジ」 単元の探究課題にグループでせまれる ように設定されている 「見方・考え方」 見方考え方を働かせる視点の例 「スキルアップ」 主にグループで技能を身に付けるよう に設定している。	◇1つ 単元（章）のまとめをするページで「学習 したことを活用してみよう」のなかに学 習したことを自分なりにまとめ、「グルー プで共有してみよう」というしかけがあ る。	◇1つ 「アクティブ地理AL」 地域にみられる課題についてグループで 解決型学習ができるように設定している。	◇1つ 「議論してみよう」 現在の各地域にみられる諸課題を設 定しており、それらの課題についてグ ループで解決型学習ができるように 設定している。

別表5

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
「発展的な内容を取り扱う」トピックスなどの記 載の数と内容	◇「見方・考え方」を働かせて、「上級編」 のクイズカードを作ろうというしかけ がある。（具体例あり）	◇コラム自体が発展形の形に設定されて いる。 ◇各編や章ごとに学習を振り返る課題が 設定されている。	◇各章の「学習を振りかえろう」の部分に章 の問いと章で生かされる「見方・考え方」 が再度記載されており、必要な知識や技 能を使って自分の考えをまとめるページ がある。 ◇そこに新たに探究したいことや、新たな 疑問、深めたいことを書きだすよう指示 がある。	◇編のまとめと振り返りのページの最後 にポートフォリオなど空間の比較や共 通性を見出せるようなしかけがある。 ・考え方が深まったことをまとめる個所 もある。

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
歴史的分野と関連のある内容	◇各ページの下部に歴史・公民に関する記号(D)があり、関連内容が記載されている。	◇各ページの下部に歴史・公民に関連している「関連マーク」があり、関連内容が記載されている。	◇各項目のページの下部に歴史・公民マークがあり、関連内容が記載されている。	◇各編や章の「まとめとふりかえり」の部分にその地域の歴史的背景にせまる項目が記載されている。 ◇各項目のページの下部に歴史・公民マークがあり、関連内容が記載されている。 ◇中国地方の通信使や、大阪堺市の工業の歴史について記載されている。
公民的分野と関連のある内容	◇各ページの下部に歴史・公民に関する記号(D)があり、関連内容が記載されている。	◇各ページの下部に歴史・公民に関連している「関連マーク」があり、関連内容が記載されている。 ◇持続可能な社会に向けて（クロスロード）にて地域の課題に迫るための記載がある。	◇各項目のページの下部に歴史・公民マークがあり、関連内容が記載されている。 ◇コラムの「未来にむけて」の中に歴史的分野・公民的分野と関連のあるものが記載されている。 ◇第2章からは節ごとに「地域の特色」と「地球的な課題」と相互に関連させるように構成されている。	◇「持続可能な地域をめざして」というコラムに都市の発展や課題が記されている。 ◇各項目のページの下部に歴史・公民マークがあり、関連内容が記載されている。
道徳と関連のある内容	◇教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念として構成されている。 ◇事象の背景や因果関係について例示を交えて説明し幅広い知識と教養が身に付くよう工夫されている。	◇ボランティアを含めた公共的な活動や政策に取り組む人々の様子を取り上げ、活動の内容や人々の思いに触れる学習を通して、社会形成への参画意識を高めるように配慮されている。 P206～207 「古都の産業と景観保全」 P212～213 「開発と環境保全の歩み」 P286～287 「調査研究の発表と共有」などの項目	◇教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念として構成されている。 ◇事象の背景や因果関係を例示に交えて説明し幅広い知識と教養が身に付くよう工夫されている。	◇教科書全体が個人の尊重の考え方を基本理念として構成されており、取り上げられている教材は、人権尊重、男女共同参画などの観点から適切に選択されている。
人権教育、福祉教育、キャリア教育、環境教育と関連のある内容	◇「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようになっている。 ◇第3編第4章「持続可能な地域の在り方」では「身近な地域をよりよくするためにはどうしたらよいか」という視点から、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充	◇差別や人権確立の歴史、人権をめぐる現状と課題についての考察を通して「共に生きる・ともに創る」社会の実現を追求する力が養われるよう以下の、「ヨーロッパがアフリカに残したものは」、「国境を越えて移動する人々」、「白豪主義から多文化主義へ」、などの項目が記載されている。 ◇環境教育について、環境保全の重要性に	◇人権や環境・エネルギー、防災などの現代社会の課題解決に向けた取組が豊富に記載されている。SDGsを意識した態度を養えるよう配慮している。 ◇コラム「未来に向けて共生」を31箇所、特設ページを9箇所設けている。多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿が紹介されている。 ◇第4部第1章「地域の在り方」では、これ	◇多様性、人権尊重などについて地理に関わる事象を豊富に取り上げ、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう配慮している。教科書全般にわたり世界や日本の地域的特色を捉える際に、多様性、人権を考える教材をそろえている。 ・P30～41 世界の様々な気候/様々な宗教

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	<p>実させるよう工夫されている。</p> <p>◇ハラル食品・朝鮮半島・女子のためのNPO運営の学校・ムスリムの暮らしなどの教材</p>	<p>ついて多面的に考察できるよう「地球規模で考え、足元から行動する」観点が強調されている。具体的には「地理の学習をはじめにあたって」で地球的課題とSDGsを掲載して世界地誌学習において各州が取り上げる地球的課題を示すことで、今後の学習に対して興味・関心を高める工夫がみられる。</p>	<p>までの学習で得た知識・技能を持って持続可能な地域社会の在り方を構想できるようにしている。</p>	<p>・P74 ゆれ動くヨーロッパの社会</p> <p>・P181 自然環境を生かした南西諸島の観光業 など</p>
男女共同参画社会の追究に対する配慮	<p>◇「みんなでチャレンジ」コーナーでは、活動を通して他者への考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動したりする場面がしかけられている。</p>	<p>◇「人権尊重の精神」に基づき、差別や人権確立の歴史、人権をめぐる現状と課題についての考察を通して、すべての人の権利が守られている、差別のない「ともに生きる・ともに創る」社会の実現を追求する力が養われるように配慮されている。特に地理的分野では、世界の様々な民族・文化と社会の関わりを通して、多様な価値観や文化に対する理解と寛容を育むことができるように留意されている。</p>	<p>◇地球的・地域的課題の解決に向けて構想する活動場面を設け、社会参画に向けた態度と資質が育成できるように以下の工夫がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ地理」が4箇所設けられている。これは生徒同士の対話を通じて主体的・対話的に学ぶしかけがある。 ・第4部1章において「地域の在り方」で地域にみられる課題の分析とその解決に向けた構想の手順を丁寧に説明している。 	<p>◇多様性、人権尊重などについて地理に関わる事象を豊富に取り上げ、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるよう配慮している。教科書全般にわたり世界や日本の地域的特色を捉える際に、多様性、人権を考える教材をそろえている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P125「多様性を尊重する社会づくりを進めるオセアニア」など

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	1 1 6 日文
ユニバーサルデザイン化に向けた工夫(文字の書体、大きさ、図表等の色遣い、装丁方法等)	<p>◇AB 判</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</p> <p>◇色覚特性のある生徒に対しても見分けやすい色の使用。</p> <p>◇小さな文字が読み取りにくい生徒への配慮。(ゴシック体のフリガナ使用)</p> <p>◇フラットデザインの使用</p>	<p>◇AB 判</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりがなされ、第三者機関の CUDO の認証も受けている。</p>	<p>◇幅広の判型の AB 判が採用されている。</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントや色調が採用されている。</p> <p>◇カラーユニバーサルデザインの配慮が行われている。</p> <p>◇二次元コードコンテンツを随所に設定し、アニメーションで説明できるよう工夫がされている。</p>	<p>◇ワイドな AB 判が採用されている。</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>◇カラーユニバーサルデザイン (CUD) の配慮が行われている。地図やグラフなどは読み取りやすい配色になっており、形や模様によって色に頼らない読み取りを可能にしている。色覚に特性がある人でも判別が可能。</p>
写真の掲載方法等の配慮事項	<p>◇本文を補完する学習効果の高い資料を大きく記載し、資料に付した「図番号」を本文にも付している。</p> <p>◇学習効果を高めるイラストを豊富に記載している。</p>	<p>◇社会科学習に不可欠な写真・イラスト・地図・グラフ・図解などの資料が豊富に記載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく配置されている。各資料には通し番号を付けており、本文にも資料との関連が分かるように資料番号が記載されている。巻頭や折り込み・扉ページを有効に活用したレイアウトにより資料性と学習効果が高まるように構成されている。</p>	<p>◇写真や地図・グラフなどが大きく見やすく提示されている。</p> <p>◇写真や図版、本文が密接に関連することで、地理的事象の背景や因果関を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」が自然に働かせられるように配慮されている。</p> <p>◇章(節)を振り返ろうで地図や写真、表などの様々なツールを用いて、地理的な見方・考え方を働かせられるように工夫されている。</p>	<p>◇文字、地図、写真、イラストなどの印刷は鮮明で読み取りやすく提示されている。</p>
グラフの掲載方法等の配慮事項	<p>◇本文を補完する学習効果の高い資料を大きく記載し、資料に付した「図番号」を本文にも付している。</p>	<p>◇「地理の技」を設け、地図やグラフなどの扱い方を学習するコーナーを掲載している。</p>	<p>◇グラフの読み取り方や、主題図の読み取り方を、種類別に説明している。</p> <p>◇色数の多いグラフや地図には模様や線種・記号などが使用され、色以外での区別ができるように配慮されている。</p> <p>◇資料図は比較を通して地域の特色が考察できるように自然や人口の主要素は縮尺が統一されている。</p> <p>◇世界地図は世界と日本の大きさや緯度経度による位置関係の比較ができるように工夫されている。</p>	<p>◇スキルアップのコーナーを設け、グラフなどの活用の仕方について説明している。</p> <p>◇本文・地図・グラフ・仕組み図、イラストなどの図版すべてにわたり正確かつ最新の資料を選択している。</p> <p>※彩色も図もシンプルで見やすい</p>
統計資料の掲載方法等の配慮事項	<p>デジタル化されている。巻頭に二次元コード</p> <p>◇「世界の統計」・「日本の統計」が統計資料として掲載されている。</p>	<p>デジタル化されている。</p> <p>◇世界のあらしと日本のあらしが統計資料の項目として記載されている。</p>	<p>デジタル化されている。目次に二次元コード</p> <p>◇世界の国々のあらし・日本の都道府県のあらしが統計資料として掲載されて</p>	<p>P294 に「世界の国別資料」 P296 に「日本の県別資料」が載っている。</p>

調査項目	発行者名			
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文
	「面積・人口」「農林水産業」「鉱工業・エネルギー」「世界や日本の貿易」「経済・所得」「気温・降水量」のコンテンツに分かれている	・エクセル版とPDF版がある ・内容は面積・人口・人口密度・国民一人当たり GNI	いる。 「面積・人口」「農業・漁業・林業」「鉱工業」「その他」のコンテンツに分かれている。	
注記の内容がわかりやすく表現されている				
索引（地名、重要語句等）の数とページ数	事項索引 384、地名索引 641 計4ページ	索引（地名も事項も一つの索引に含まれている） 526 計4 ページ	事項索引 425、地名索引 240 計4 ページ 二次元コードコンテンツですぐに用語解説が見られる。	事項索引 377、地名索引 223 計4 ページ
用語解説の数と掲載方法等の配慮事項	69項目（紙面上） ◇デジタル化もされており、二次元コードを読み取って、あいうえお順で検索ができるようになっている。	95項目 ◇巻末に地理的用語を5種類（世界の国々・自然・人口・農林水産・資源・政治・環境）に区分して分かりやすく解説し、その用語が重要語句になっているページを参照できるように工夫している。	紙面上には記載なし ◇デジタル化されており、二次元コードを読み取ってあいうえお順で検索ができるようになっている。	58項目 ◇巻末に地理的用語を5種類（自然環境・産業・人口・持続可能な社会・経済）に区分して分かりやすく解説し、その用語が重要語句になっているページを参照できるように工夫している。
デジタルコンテンツ（二次元コード等）の工夫	様々なページに二次元コードが設置されているが、P3にすべての二次元コードを一元化した二次元コードがついている。その二次元コードでは様々なコンテンツ（D-move（動画）比べる雨温図、VRで見る世界の植生、デジタル地球儀、クイズ、統計資料、アニメーションなど）に仕分けがされている	「まなびリンク」というマークが巻頭IVに二次元コードとともに記載されている。主にコラムの「地理の技」とリンクしている。アニメーションを使っの技能的な課題の補足的な要素が大きい。	様々なページに二次元コードが設置されているが、巻頭6にすべての二次元コードを一元化した二次元コードがついている。その二次元コードでは様々なコンテンツ（例NHK for schoolへの直接リンクや統計資料、アニメーションなど）に仕分けがされている。	巻頭8と教科書の裏表紙に二次元コードが設けられている。それが見開き1ページのタイトル横に記載されている二次元コードとリンクしている。内容は充実しており、コンテンツは「小テスト」や「ポートフォリオ」、「外部へのリンク」が充実している。
デジタル教科書の有無（指導者用、学習者用）	ともにある。	ともにある。	ともにある。	ともにある。